

「かわいい」の意味と英訳

英語教育センター長・国際英語学科教授 安藤公仁

序

いつの時代にも中高年の慨嘆に必ず登場するのが「最近の若者は・・・」であろう。1986年、「新人類」という言葉が新語・流行語大賞に選ばれた。それまでの日本人の常識では理解しがたい感性、価値観、言動を特徴とし、当人にはその自覚がない。必ずしも否定的な意味でのみ使われたわけではないが、想定外の、俄かには信じがたい事件・事故が起こった時などにもこの表現が用いられることがあった。しかしながら、言うまでもなく、「新人類」の出現は1980年代特有の現象ではない。30年が経過しようとしている現在でも、若者が「新人類」と呼ばれることはないが、その出現が途絶えることはない。どの時代の若者も「最近の若者は・・・」と規範意識の欠如や社会性の不足、言葉の「乱れ」などを嘆かれたり、批判されたりするのである。

一世代二世代離れた若者の、これまでとは違う感覚や経験は、当然、彼らの言語にも影響を与える。「チョベリグ」「チョベリバ」というような省略、短縮、合成の所産である流行語が出現したのは1990年代後半のことで、当時は耳を疑ったものである。また、最近では「やばい」という言葉が、「やば」の形容詞化としての本来の意味“不都合である、危険である（「広辞苑第六版）」とはかなり違う意味で若者に使われている。「広辞苑第六版」（2008 岩波書店）や「精選版日本国語大辞典」（2006 小学館）には採用されていないが、「大辞林第三版」（2006 三省堂）には三番目の語義として以下のように記述されている。

- ③若者言葉で、すごい。自身の心情が、ひどく揺さぶられている様子についていう。「この曲、一・いよ」〔若者言葉では「格好良い」を意味する肯定的な文脈から、「困った」を意味する否定的な文脈まで、広く感動詞的に用いられる。〕

このような新語・造語の作り手や語義変化の主要な担い手はいつも若者で

ある。とりわけ、「チョベリグ」がそうであったように、女子高校生などの若い女性の言語感覚が大きな影響力を持っているように思える。

近年、若年層の女子に頻繁に使われている語のひとつが「かわいい」である。人や動物のみならず、さまざまな物や事に「かわいい！」が使われている。「かわいい」という語の適用範囲が広くなり、意味も多様になっている。例えば、30～40年前の教育現場で、学生・生徒が指導を受けている教員に対して「かわいい」という語を使うことは考えられなかったのではないだろうか。国語辞典の語義記述にもこのあたりの事情が伺える。「三省堂 国語辞典 金田一京助編」（1960 三省堂）では、「かわい・い」の語義は「好きで、自分のそばにおきたい気持ちだ。かわゆい。（⇔にくい）」と記述されているのみである。ほぼ50年後の「明鏡国語辞典」（2002-2008 大修館）では、4番目の語義として『〔俗〕 どころなく心をくすぐるところがあつて好感が持てる。「先生つてば、てれちゃって、一！」』と例文と共に記述されている。

「かわいい」は日々進化している。最近では、この表現は若年層女子の専売特許ではなくなり、男子も、中高年の男子でさえ、「かわいい」をよく使っているように思える。本稿では、「Ⅰ 語義」で改めて「かわいい」という語の意味を振り返り、「Ⅱ 英訳」で「かわいい」を含む日本語表現を英訳する際にどのようなことに注意すべきかを考えてみたい。更に、『跋「KAWAII」の登場』では、『二十一世紀に入って世界的にもっとも広がった日本語は、間違いなく「カワイイ」だろう』（櫻井，2009，14）と言われている事情に触れ、その英訳について考えてみたい。

I 語義

そもそも「かわいい」とはどういう意味なのか。2001年以降、ほぼ同時期に刊行された下記の国語辞典4冊を用いて考察する。辞書名の後の【 】内の表記は本稿での略称である。

- ・ 広辞苑第六版（岩波書店 2008）【広辞苑】
- ・ 精選版日本語大辞典（小学館 2006）【大辞典】
- ・ 明鏡国語辞典（大修館 2002-2008）【明鏡】

・現代新国語辞典第二版（三省堂 2004）【現代】

「広辞苑」では「かわい・い」の語義として、①から③まで以下のように記述されている。

- ① いたわしい。ふびんだ。かわいそうだ。
- ② 愛すべきである。深い愛情を感じる。
- ③ 小さくて美しい。

語義①は「大辞典」にも記述されているが、「明鏡」「現代」の両辞典には収録されていない。「広辞苑」「大辞典」の例文も鎌倉、室町、江戸期の作品からの引用であり、現代語では「かわいい」が語義①で用いられることはないと考えられる。したがって、本稿では語義②と語義③のみを考察の対象としたい。

語義②の「愛すべきである。深い愛情を感じる。」は、厳密に言えば、ふたつの意味をひとつの項目に整理している。すなわち、客観的な様子をあらわす「愛すべきである」と主観的な感情をあらわす「深い愛情を感じる」のふたつの意味である。「大辞典」「明鏡」「現代」では、「広辞苑」の語義②をふたつの項目に分けて両者の意味を区別している。

○「大辞典」

- ②心がひかれて、放っておけない、大切にしたいという気持である。
深く愛し、大事にしたいさまである。いとしい。
- ③愛すべきさまである。かわいらしい。かわゆい。
 - ①（若い女性や子どもの、顔や姿が）愛らしく、魅力がある。
 - ②（子どものように）邪心がなく、殊勝なさまである。いじらしい。

○「明鏡」

- ①幼さやか弱さを感じ取り、まもり慈しみたいと思うさま。また、そのように思わせるさま。
- ②外見・しぐさ・性格・行動様式などがほほえましく、愛情を感じさせるさま。愛らしい。愛くるしい。可憐（かれん）だ。

○「現代」

- ①深く愛し、たいせつに思う気持ちを起こさせるようす。
- ②愛らしい。

「かわいい」を含む日本語表現を英訳する場合、「主観的な感情」と「客観的な様子」の区別は重要なポイントになる。その点については、「Ⅱ英訳」で考察することとし、ここではもうひとつ重要な点に着目したい。それは「大辞典」の③-④の語義に別項目が与えられていることと、「明鏡」の語義②に「外見」に加えて「しぐさ・性格・行動様式」が「愛情を感じさせる」対象に含まれていることである。つまり、「かわいい」と感じる事象の範囲を単に外見だけではなく、対象の内面性やそれを感じさせる様子・イメージにまで広げていることである。「明鏡」の例文「妙に落ち着き払って一・くないやつだ」は現在使われている表現だが、「大辞典」で引用されている例文「妻が良人に見せんが為めに飾る可愛い心や」が100年以上前の1908年の作品から採られていることから考えても、決して最近の意味の変化ではないことがわかる。「大辞典」③-④の意味があるからこそ「かわいい」という語が現在の意味の多様性と広い対象範囲を獲得してきたと言えるのではないかと。

序で紹介した「明鏡」の語義④の意味と例文『〔俗〕どことなく心をくすぐるところがあって好感が持てる。「先生ってば、てれちゃって、—!」』は俗語とされているが、明らかに「大辞典」の正用法としての③-④から発展した用例である。「現代」にも、例文はないが、③〔俗語〕として、「にあってる、気に入った、などの気持ちを起こさせるようす。〔若い女性などの使うことば〕」という記述がある。これも「大辞典」の③-④の語義から発展したものである。

「広辞苑」の③「小さくて美しい」という語義は、「現代」には収録されていないが、「大辞典」「明鏡」の両辞典には採用されている。「大辞典」では川端康成の『雪国』(1935-47)から「軒端の可愛い氷柱」という表現が引用されているが、この用例は「この携帯ストラップかわいい!」などと、現代の女性がよく使う「かわいい」とほぼ同義である。また、「明鏡」にも語義③に「日用品などが小さくて愛らしい」とあり、「—デジタルカメラ」という現代的な用例が採用されている。

「かわいい」の語義「小さくて美しい」から「小さい」というイメージの

みを抽出して派生した語義として、「大辞典」のみ、語義⑤「取るに足りない。あわれむべきさまである。やや侮蔑を含んでいう。」を記述している。この語義の「かわいい」が現代語で使われることはないと考えられるが、「こんな問題はかわいいものです。」などの表現で「たやすい」いう意味に変容して現在も日常的に使われている。

これまでの考察で「かわいい」の語義はほぼ網羅されているのではないか。要約すれば、「かわいい」という語は『顔や姿が小さくて、愛らしく、魅力があり、時に愛情や愛着を抱かざるを得ないような対象に投げかけたり、その対象を描写する言葉であり、さらに姿・かたちにとどまらず、愛すべきと感じる対象範囲を好ましい性格やそれを感じさせる言動、さらに「照れる様子」「困った様子」など、イメージにまで拡げて用いることができる便利な言葉』ということになるうか。

II 英訳

「かわいい」を英訳する場合は、言うまでもなく、その語が文脈の中で「I 語義」で考察したどの意味で使われているのかを考える必要がある。ここでは、最も詳しく語義の分類をしている「大辞典」の記述に従って考察してみたい。

「顔や姿などの外見」について、客観的に「大辞典」③ - ④の「(若い女性や子どもの、顔や姿が) 愛らしく、魅力がある」という意味で用いられている表現であれば、“cute” “pretty” “sweet” “lovely” 等の形容詞で対応できる。

- ・「かわいい声で」⇒ in a sweet voice
- ・「かわいい顔をしている」⇒ have a cute face
- ・「彼女は笑顔がかわいい」
⇒ She is pretty[cute] when she smiles.
- ・「なんてかわいい犬でしょう」
⇒ What a lovely dog!
(「新和英大辞典 第五版」研究社 2003. 2008. 以下、「和英大辞典」という。)

「大辞典」④の「(物や形が) 好ましく小さい。また、小さくて美しい。かわゆい。」という意味で使われている「かわいい」も特に問題なく“little”“tiny”等の形容詞で英訳できるのではないか。

- ・「山奥のかわいい駅」
⇒ a little station deep in the mountains
- ・「このケーキはずいぶんかわいいね。」
⇒ What tiny little cakes!
(「和英大辞典」)

これらの用例の場合は「小さい」ということに意味の重点があるので、「愛らしく、魅力がある」の“cute”“pretty”“sweet”を使うのは不適切であろう。“a cute station”??? という反応が返ってくるのではないかと思う。小さい駅に「美しい」という意味合いを持たせたいのなら“lovely”も可能だが、必ずしも「小さい」という意味合いは出せないのではないか。

「和英大辞典」の「かわいい」から用例を引用しているが、「1〔愛情の対象として〕」の用例に、「スズランがかわいい花をつけた」の英訳として“*There were some pretty flowers on the lily of the valley*”が採用されている。しかし、スズランは「5月から7月にかけて、葉より短く長さ20cmほどの花茎を出し芳香のある白色の小花を総状につける」(ブリタニカ国際大百科事典, 2008, Britanica Japan Co.,Ltd.) 植物なので、ここでは「愛らしさ」に重点がある“pretty”ではなく、「小さい」に重点がある“tiny”か“cute”の方が適切ではないかと考えられる。

「大辞典」の⑤の「とるに足りない。あわれむべきさまである。やや侮蔑を含んでいう」の意味で使われている「かわいい」は、①の「かわいそうだ」同様、現代語では用いられることがないのではないか。ここでは、この⑤の語義から派生した「たやすい」という意味の「かわいい」について、「I 語義」で挙げた例文「こんな問題はかわいいものです」の英訳について考えてみたい。この例文では、「かわいい」は明らかに「たやすい」という意味なので、“*This problem is cute/pretty/sweet.*” などという英訳はもちろん受け入れられない。“*easy to deal with*” など、意味を踏まえた英訳が必要である。“*a piece of cake*” というフレーズで英訳することも可能である。

次に「大辞典」の語義②の「かわいい」を用いた用例について考えてみよう。語義②の記述は「心がひかれて、放っておけない、大切にしたいという気持ちである。深く愛し、大事にしたいさまである。いとしい。」となっている。「I語義」で指摘したように、この意味の「かわいい」はある対象に対する愛情や愛着など、「主観的な感情」を表明しているのだから、英訳を考えるときは「誰か」その感情の主なのか、主語を強く意識しなければならない。また、一般論として、容姿などを描写する「静的」な形容詞ではなく、「心の動き」を表現する動詞を使う方がこの場合の「かわいい」の意味を正確に翻訳することができるだろう。

具体例で考えてみたい。日本語文「この子がかわいくてしかたがない。」の英訳として、“My son is so sweet[cute].”はどうだろうか。この英文は、“my son”が客観的にとても「かわいい」という意味合いに重点があり、この日本語文を発した人の主観的な「愛情」「愛着」が十分伝わってこない。誰がこの子を「かわいい」と思っているのか、その心の動きを示す動詞と共に主語を英訳の中にも含める必要があるだろう。「和英大辞典」の英訳は“*He's so sweet I just love him.*”となっており、ポイントの「主語」と「動詞」が備わっている。日本語は主語が曖昧だとよく言われるが、日本人学習者は、英語を「話し・書く」時、この点を常に意識する方がいいだろう。余談になるが、アメリカの映画やテレビドラマで、父親が自分の娘に“I love you, darling.”と言ったとしたら、その娘はまず間違いなく主語と動詞を明示して、“I love you, too.”と返している。“Me, too.”という返答はあまり聞かないのではないか。「和英大辞典」の別の用例、「彼女はかわいいかわいいと子供を抱きしめた。」“*She hugged her child, saying 'I love you! I love you!'*”においても、主語の明示と動詞の使用というポイントが押さえられている。

「かわいい子には旅をさせよ。」という諺の場合はどうだろうか。この「かわいい子」は「自分が愛している子供」である。旅の苦難を経験させることは、その後の人生のためになるという意味合いであるから、“*Let a cute child travel[make a journey].*”という英訳は受け入れられない。「和英大辞典」では“*The child you love should be made to experience traveling.*”となっており、誰が「かわいい」と思っているのか、その子が嫌がっても旅を経験させよという意味がよく出ている。

次に、「かわいい」という語が多様な意味と適用範囲を獲得してきた理由

となる、「大辞典」の語義③-㊦「(子どものように) 邪心がなく、殊勝なさままでである。いじらしい。」と「明鏡」の語義②「外見・しぐさ・性格・行動様式などがほほえましく、愛情を感じさせるさま。愛らしい。愛くるしい。可憐(かれん)だ。」から「外見」を除く部分について考えてみたい。

結論から言うと、この意味の「かわいい」は漠然とした「内面性・様子・イメージ」の叙述であるから、英訳の場合も意味が曖昧な“nice”が便利であり、“cute” “pretty” “sweet” “lovely” はしっくり行かない。この点は「和英大辞典」の次の用例を見ても理解できる。

「あの子は口答えばかりしてかわいくない」

⇒ “The way she always talks back isn't nice.”

「もう少しかわいくできないものかね。」

⇒ “Can't you be a bit nicer?”

最後に、「明鏡」の語義④「〔俗〕どことなく心をくすぐるところがあって好感が持てる」の用例、「先生ってば、てれちゃって、一！」の英訳を考えてみたい。そもそも「かわいい」という語は、小さいもの、愛らしいものの描写か、それらへの愛情や愛着を表現するものであるから、「序」でも述べたように、社会的地位の高い人や指導的立場にある人、高齢者や年長者に用いられることはなかった。しか現代の若者にはそのような障壁はなくなり、この例のような言語使用も珍しくなくなっている。これは、「かわいい」に「大辞典」の③-㊦の語義「(子どものように) 邪心がなく、殊勝なさまである」や「明鏡」の②の語義「しぐさ・性格・行動様式などがほほえましく、愛情を感じさせるさま」があるからであり、そのような連想を抱かせる対象は年齢や立場に関係なく「かわいい」のである。「かわいいおばあちゃん」という表現も必然的に使われるようになるのである。(小原, 2006, 154-191)

「かわいい」の使用が適切か不適切かの問題は残るが、英訳自体は難しくないだろう。“Oh, you're blushing, Mr. Ando. How cute!” とでも言えばいいのだろうか。

もともと“pluripotent”な語である「かわいい」は進化し続け、その語が用いられる対象や意味の多様性はこれからも拡大していくだろう。したがって、「かわいい」を英訳する場合は、特に英作文の学習者は、一对一の形容

詞で対応しようとせず、日本語文の意味をよく考える必要がある。言うまでもなく、「かわいい」は人間の心の動きを表現する言葉である。繰り返しになるが、誰の心の動きなのかを明示する主語の設定や心の動き・状態を正確に表す動詞の選定が「かわいい」の英訳では大切になることを忘れてはならない。

跋 「KAWAII」の登場

本稿の「序」で『二十一世紀に入って世界的にもっとも広がった日本語は、間違いなく「カワイイ」だろう』という櫻井氏の見解に触れたが（櫻井、2009, 14）、その背景にあるのは、言うまでもなく、ヨーロッパや東南アジア諸国の若者に浸透している日本のアニメ・マンガの人気である。アニメやマンガの登場人物が身に着けている服装が下敷きとなって、東京・原宿から発信される、いわゆる「ロリータ・ファッション」や「制服ファッション」が「かわいい」と世界中で若年層女子を中心に受け入れられているのである。

国際交流基金と在外大使館が主催する文化交流事業には外務省が委嘱する「カワイイ大使」が派遣され、ファッション・ショーやトーク・ショーを開催、そこで「カワイイ大使」が発信する、原宿ファッションを中心とする「かわいい文化」が現地の女性から絶大な支持を得ているのである。服装だけではなく、手と指でハートマークを作る「かわいい」「しぐさ」も広がっているという。このような場面に登場するのが「KAWAII」という世界的な「新語」である。

櫻井氏によると、「KAWAII」という価値判断には、「日本的なもの、東京的なものというニュアンス」（櫻井、2009, 166）が入っていないからならない。したがって、世界中で人気のある、日本発のハローキティには「かわいい」も「KAWAII」も使えるが、コアラは「かわいい」とは言っても「KAWAII」とは言えないことになる。本稿での英訳に使用した“cute”“pretty”“lovely”“nice”もアニメ・マンガにルーツを持つ「カワイイ」文化の訳語にはなれないようであるが、『「KAWAII」の意味と英訳』は別の機会の考察としたい。

【引用・参考文献一覧】

小原一馬（2006）「かわいいおばあちゃん」稲垣恭子編『子ども・学校・社会』
世界思想社 154-191

櫻井孝昌（2009）『世界カワイイ革命』PHP 新書

【参考辞典一覧】

『三省堂国語辞典金田一京助編』（三省堂 1960）

『精選版日本語大辞典』（小学館 2006）

『現代新国語辞典第二版』（三省堂 2004）

『広辞苑第六版』（岩波書店 2008）

『大辞林第三版』（三省堂 2006）

『ブリタニカ国際大百科事典』（Britanica Japan Co.,Ltd. 2008）

『明鏡国語辞典』（大修館 2002-2008）

【資料：「かわい・い」の語義一覧】

○「広辞苑第六版」（岩波 2008）

かわい・い カハイイ

〔形〕

（カウユイの転。「可愛い」は当て字）

①いたわしい。ふびんだ。かわいそうだ。三体詩抄「万民の枯骨となりたる
はかわい・い事ではをりないか」

②愛すべきである。深い愛情を感じる。「かわい・い我が子」「かわい・い声
で歌う」

③小さくて美しい。「かわい・いスズランの花」

⇒かわいい子には旅をさせよ

○「精選版日本語大辞典」（小学館 2006）

かわい・い かはいい【可愛】

〔形口〕

（「かわゆい」の変化した語）

①あわれで、人の同情をさそうようなさまである。かわいそうだ。ふびんだ。
いたわしい。

* 史記抄（1477）八「罪もない父母や妻子や同産の兄弟まてつみせらるる

はかはいい事ぞ」

*浄瑠璃・丹波与作待夜の小室節（1707頃）中「あすの日中にきらるげな、
かはいひ事をしまする」

- ②心がひかれて、放っておけない、大切にしたいという気持である。深く愛し、大事にしたいさまである。いとしい。

*虎明本狂言・盗人の子（室町末一近世初）「おやのみになっては、むさい子をもってさへかはいひに」

*滑稽本・浮世風呂（1809-13）前「にくい母（おっかあ）めだの。うなうなをしてやろう。可愛（カワイイ）坊に灸（あつ）ウすえて」

- ③愛すべきさまである。かわいらしい。かわゆい。

①（若い女性や子どもの、顔や姿が）愛らしく、魅力がある。

*人情本・春告鳥（1836-37）三「手めへに似たらさぞかはいひのが出来るだろう」

②（子どものように）邪心がなく、殊勝なさまである。いじらしい。

*都会（1908）〈生田葵山〉不安「妻が良人に見せんが為めに飾る可愛い心や」

- ④（物や形が）好ましく小さい。また、小さくて美しい。かわゆい。

*雑俳・柳多留一九八（1828）「かはいい虫が来てはさす臍の下」

*雪国（1935-47）〈川端康成〉「軒端の可愛い氷柱」

- ⑤とるに足りない。あわれむべきさまである。やや侮蔑を含んでいう。

*史記抄（1477）五「言は、秦に諸侯を比すれば天子の下で郡県の主君ほどの事ぞ。かわいいものぞ」

○「明鏡国語辞典」（大修館 2002-2008）

かわい・い【可愛い】カハイイ

[形]

- ①幼さやか弱さを感じ取り、まもり慈しみたいと思うさま。また、そのように思わせるさま。

「娘が一・くてしかたがない」「君は何よりも自分が一んだ」「親にとって子は一ものだ」

- ②外見・しぐさ・性格・行動様式などがほほえましく、愛情を感じさせるさま。愛らしい。愛くるしい。可憐（かれん）だ。

「あの子は笑顔が一」「パンダも一けどコアラも一」「一服」「妙に落ち着き払って一・くないやつだ」

③日用品などが小さくて愛らしい。

「一デジタルカメラ」

④〔俗〕どこことなく心をくすぐるところがあって好感が持てる。

「先生ってば、てれちゃって、一！」

◆「カホ（顔）ハユ（映）シ」から転じた。

標記「可愛」は当て字。

表現 ②③は「かわいらしい」で置き換えることができるが、「かわいい」のほうが主観的な言い方で、話者の心理が前面に押し出される傾向が強い。

派生 一げ／一さ「一余って憎さ百倍」／一が・る

○「現代新国語辞典第二版」（三省堂 2004）

かわい・い【かわいい】（：可愛い）

〈形〉

①深く愛し、たいせつに思う気持ちを起こさせるようす。

「一わが子」**対** にくい

②愛らしい。

「一顔」

③〔俗語〕にあつてゐる、気に入った、などの気持ちを起こさせるようす。

〔若い女性などの使うことば〕▽かわゆい

比較【かわいい①】主観的な感情をあらわすことがある。「私はこの子が一」

〔かわいらしい〕〔愛らしい〕客観的なようすをあらわす。「一子ども」

一子には旅をさせよ わが子をほんとうにかわいいと思うなら、手もとにおいて甘やかすより、他人の中に出して苦勞させたほうがよい。

○「三省堂国語辞典金田一京助編」（三省堂 1960）

かわい・い [：可愛い]カハイイ

（形）

好きで、自分のそばにおきたい気持ちだ。かわゆい。（⇔にくい）

派生 一が・る（他五）一げ（形動ダ）一さ（名）。

かわいらし・い [：可愛らしい] かはい一（形）いかにもかわいい。（⇔

にくらしい)

派生 一げ (形動ダ) 一さ (名)。